

様式第3号（第4条関係）

バルク供給設備の技術上の基準

（バルク貯槽による貯蔵能力が500kgを超え1,000kg未満のものに限る）

1. 貯槽の設備状況	コンクリート基礎地上設置
2. 貯槽の適合性	特定設備検査合格証（発行番号〇〇〇〇）を添付
3. 保安距離	①第1種保安距離（法定1.5m・構造壁等又は埋設設置 0m） 実際距離 <u>1.2m</u> 保安物件の名称 <u>〇〇小学校</u> ②第2種保安距離（法定1.0m・構造壁等又は埋設設置 0m） 実際距離 <u>10m</u> 保安物件の名称 <u>一般住宅</u>
4. 構造壁等	壁の構造 <u>材料</u> <u>コンクリートブロック</u> 寸法（高さ） <u>3.0m</u> （幅） <u>4.0m</u>
5. 貯槽の表示	L P ガス・火気厳禁（朱書）、緊急連絡先
6. 腐食防止措置	貯槽下地処理、錆止め塗装2回、上塗り塗装2回 基礎の高さ地盤面から5cm以上打設
7. 転倒防止等の措置	アンカーボルト固定
8. プロテクター内のガス漏れ検知器の設置等	バルク用警報機 〇〇〇〇設置 ※ガス漏れ検知器を設置しない場合は、その理由を記載すること。 例) 漏えいの有無の確認を、3ヶ月に1回以上実施する。 （バルク供給・充てん設備告示第15条第2項参照）
9. 火気等との距離	①火気等との距離 〇〇m（駐車場まで） ②火気距離が2m以内 防火壁等の設置の有無

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。